

# 平成14年度 共通教育履修案内 〔1年次の学生用〕

この履修案内は、共通教育授業時間割及び1年次の学生の履修手続等についてお知らせするものです。学生のみなさんは、各学部の履修の手引等により、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照にして、履修計画をたててください。

なお、学生のみなさんは、この履修案内を紛失等しないように、留意してください。

山口大学学務部教務課

## 平成14年度 共通教育関係学事日程表

学期	日	時	摘	要
前期	平成14年	4月 1日(月) ~ 4月 7日(日)	春季休業, フレッシュマンセミナー(注1)	
		4月 9日(火)	入学式	
		4月10日(水)	新入生オリエンテーション	
		4月11日(木)	授業開始	
		4月18日(木) ~ 4月24日(水)	履修届提出期間	
		4月25日(木) ~ 4月26日(金)	履修届変更受付期間	
		5月 9日(木) ~ 5月10日(金)	履修届確認期間(注2)	
	平成15年	6月 1日(土)	山口大学創立記念日	
		6月 8日(土)	第1回TOEIC試験	
		7月17日(水)	月曜日授業振替日(注3)	
		7月18日(木) ~ 7月31日(水)	前期末定期試験期間	
		8月 1日(木) ~ 9月30日(月)	夏季休業	
		8月 5日(月)	第2回TOEIC試験	
		後期	平成14年	10月 1日(火)
10月 8日(火) ~ 10月15日(火)	履修届提出期間			
10月16日(水) ~ 10月17日(木)	履修届変更受付期間			
10月30日(水) ~ 10月31日(木)	履修届確認期間(注2)			
12月25日(水) ~ 1月 7日(火)	冬季休業			
平成15年	1月17日(金)		午後臨時休業	
	1月21日(火) ~ 1月22日(水)		月曜日授業振替日(注3)	
	1月23日(木) ~ 1月24日(金)		補講期間	
	1月28日(火) ~ 2月10日(月)		後期末定期試験期間	
	2月11日(火) ~ 3月31日(月)		学年末休業	
		3月25日(火)	卒業式	

▶ この学事日程については、共通教育に関するもので、所属する学部固有の行事等については、所属する学部の教務担当係の指示に従ってください。

(注1) フレッシュマンセミナーの日程等については、所属する学部により異なりますので、所属する学部の教務担当係の指示に従って、必ず参加してください。

(注2) 履修届確認期間については、変更する場合がありますので、掲示に留意しておいてください。

(注3) 月曜日授業振替日とは、祝祭日等により休日となる月曜日の授業を振り替えて、当該の日に月曜日の授業を行うものです。従って、振り替えられた曜日の授業については、休講となります。

# ◆ 目 次 ◆

## I. 共通教育の仕組み

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 1. 共通教育とは             | 1 |
| 2. 科目編成表の見方について       | 1 |
| 3. コースマトリックス表の見方について  | 3 |
| 4. 学生別履修要件表の見方について    | 4 |
| 5. コースカリキュラムを修了するためには | 4 |

## II. 共通教育科目の履修上の注意

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| 1. 英語の履修について               | 6  |
| 2. 初習外国語の履修について            | 8  |
| 3. 自然科学入門分野の履修について         | 9  |
| 4. 自然科学実験分野の履修について         | 9  |
| 5. スポーツ運動実習の履修について         | 10 |
| 6. フレッシュマン・セミナー(新入生合宿)について | 11 |
| 7. 外国人留学生用授業科目について         | 11 |

## III. 履修手続について

- |                    |    |
|--------------------|----|
| 1. 共通教育科目の授業計画     | 12 |
| 2. 履修届の提出          | 12 |
| 3. 履修手続に関する注意事項    | 14 |
| 4. 履修及び授業に関する問い合わせ | 14 |
| 5. 掲示について          | 15 |

## IV. 共通教育の定期試験について

- |                |    |
|----------------|----|
| 1. 定期試験について    | 16 |
| 2. 定期試験の受験上の注意 | 16 |
| 3. 追試験について     | 16 |
| 4. 再試験について     | 17 |
| 5. 成績について      | 17 |

## V. その他

- |                 |    |
|-----------------|----|
| 1. 既修得単位の認定     | 18 |
| 2. 放送大学との単位互換制度 | 18 |

# I. 共通教育の仕組み

## 1. 共通教育とは

### (1) 共通教育とは

共通教育は、幅広く深い教養及び総合的な判断力をともなった豊かな人間性を涵養することを目的とし、さらに専門的な学問研究等に取り組むための基礎的な教育を提供する場として、開設されています。

### (2) 共通教育の特色

本学の共通教育は、コースカリキュラムに基づいた、次のようなキーワードを反映した教育システムです。

- ◆ 大学4年間(あるいは、6年間)一貫教育によるゆとりのある教育システム
- ◆ セメスター制(一部、クォーター制)による授業科目の提供
- ◆ TOEIC等を導入した外国語教育の実施
- ◆ 情報リテラシー教育の充実
- ◆ IT機器を利用した授業科目の積極的な導入
- ◆ 少人数による学生と向き合った対面教育の実施

### (3) コースカリキュラムとは

コースカリキュラムとは、あらかじめ設置された『コース』に定められた授業科目を履修して、1つ以上の決められた数のコースを修了し、卒業要件をクリアしていく教育カリキュラムです。

学生のみなさんは、各学部の履修の手引に掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表に基づき、単位を修得していくこととなります。このコースカリキュラム・マトリックス表については、科目編成表、コースマトリックス表及び学生別履修要件表からなり、この3つの表の仕組みについて、次に説明していきます。

Q: コースカリキュラム、どのように履修していくの?

A: コースカリキュラム・マトリックス表を見て、“いきなり自分の履修の計画を設計してください”，って言われても、どうすればいいのでしょうか？ まず最初に、学生のみなさんは、学生別履修要件表の学生区分に示されたあなたの学科等を探してください。あなたの学生区分においては、どんなコースを選択することができますか？ 選択できるコースの中には、どんな授業科目に◎や○が付いていますか？ そして、その授業科目とは、どのように履修して、いつ開講されていますか？ いろんな『?』を挙げてみましたが、こうした『?』を解決していくのは、学生のみなさん自身なのです。コースカリキュラムとは、コースカリキュラム・マトリックス表という海の上に、学生のみなさん一人一人が、それぞれの航海をしていくようなものです。コースカリキュラムの詳細については、これから説明していきますが、分からないことに直面したときには、先輩や友達の曖昧な情報を頼りにしないで、担当の先生や教務担当係に相談してください。

## 2. 科目編成表の見方について

### (1) 科目編成表について

コースカリキュラム・マトリックス表の左上部に記載している科目編成表には、共通教育に開設されている授業科目が記載されており、体系化する系列、分野、授業科目の設置、科目類型、単位数等が表記してあります。

### (2) 系列と分野

系列と分野とは、科目編成表を体系化するグループであり、それぞれの授業科目を分野により学際的にグループ化させ、各分野を系列により体系化しています。



Q：応用科学分野の『環境学』を履修するためには？

A：環境学の科目類型については、展開2となっています。しかし、上記の実践総合英語と違うところは、同一の分野に基礎の授業科目がありませんので、入学当初から総説と同じように履修することができます。

Q：中国語分野の『中国語中級1』を履修するためには？

A：中国語中級1の科目類型については、展開1となっています。展開1の授業科目を履修するためには、同一の分野のすべての総説の授業科目の単位を修得していないといけません。つまり、中国語初級1及び中国語初級2の単位を修得していないと、履修することができないわけです。

### (5) 積み上げ履修について

積み上げ履修可能な授業科目とは、既に単位を修得した授業科目を繰り返し履修して、単位を修得した際には、その単位数を既に修得した単位数に累積して、卒業に必要な単位として認定できる授業科目です。科目編成表の積み上げ履修の項目において、『可』と表示されている授業科目が、これに該当します。

Q：既に『思想と文化』の単位を修得していますが、履修することができますか？

A：積み上げ履修可能な授業科目ですので、履修することができます。そして、単位を修得すれば、卒業に必要な単位として認定することができます。つまり、既に2単位を修得している際に、再び2単位を修得したとすると、累積した4単位を卒業に必要な単位にできるわけです。主題系列や一般系列の授業科目については、同じ授業科目であっても、いろんなテーマの内容の授業を開設しています。関心のあるテーマの授業科目については、積み上げ履修を行い、教養を深めていくのも良いでしょう。

## 3. コースマトリックス表の見方について

### (1) コースマトリックス表について

コースカリキュラム・マトリックス表の右上部に記載しているコースマトリックス表には、あらかじめ設置された『コース』を列に表記し、行に示された授業科目に対応させて、それぞれのコースを構成する授業科目について、◎または○により表記してあります。

### (2) ◎及び○について

コースマトリックス表に表記されている◎の授業科目については、当該のコースを修了するために、必修科目となる授業科目です。また、○の授業科目については、当該のコースを修了するための選択科目となる授業科目です。

Q：英語標準コースの授業科目構成は？

A：英語標準コースについては、◎の授業科目4科目及び○の授業科目9科目により構成されています。英語標準コースを修了するためには、◎の授業科目については、必修科目となっていますので、学生のみなさんは、必ずそれらの単位を修得しなくてはなりません。それに加えて、○の授業科目の中からいくつかの授業科目を履修して、次に説明する学生別履修要件表に定められた単位数を修得することが必要となります。

Q：○の付いていない授業科目を履修することができますか？

A：履修することができます。ただし、当該の授業科目の単位を修得したとしても、卒業に必要な単位に算入できませんので、留意してください。

## 4. 学生別履修要件表の見方について

### (1) 学生別履修要件表とは

コースカリキュラム・マトリックス表の下部に記載している学生別履修要件表には、あらかじめ設置された『コース』を列に表記し、行に示された学生区分に対応させて、それぞれのコースを修了するための要件等について、単位数により表記してあります。

### (2) 学生区分とは

学生区分とは、学生別履修要件表に適用される学生の履修パターンのグループを示し、学部や学科名等により表記されています。

### (3) コース行及びブロック行

コースカリキュラム・マトリックス表においては、あらかじめ設置された『コース』に対応する学生区分について、2段書きの行が表記されています。この上段の行をコース行と呼び、下段の行をブロック行と呼びます。

コース行については、当該の単一のコースを修了するために必要な単位数を表記し、ブロック行については、ブロック指定された複数のコースにまたがって修了するために必要な単位数等を表記しています。学生のみなさんは、この2つの行に設定された単位数等に基づき、履修していくコースを選択していきます。

なお、それぞれの行について、網掛けを付しているコースまたはブロックについては、必修であることを意味しています。

履修確認票とは、みなさんが提出した履修届を電算処理して、履修しようとするすべての授業科目について、曜日・時限、コード、授業科目、単位、担当教官等を記載した書類です。以下の期間

Q：単位数の設定されていないコースを選択することができますか？

A：コース行において、単位数を設定していないコースについては、選択することはできません。もちろん、単位数の設定されていないコースの◎や○の付いている授業科目の単位を修得したとしても、卒業に必要な単位数に算入されませんので、留意してください。

### (4) 卒業要件総単位数について

卒業要件総単位数については、学生区分に指定された学生が、卒業に必要な総単位数を表示しています。コースカリキュラムにおける卒業要件総単位数とは、卒業に必要な単位として認められる授業科目の中から、単位を修得した授業科目の単位数の合計により算出されます。

Q：卒業要件総単位数とは、単純に修得した授業科目の単位数の合計でいいの？

A：単位を修得した授業科目であっても、卒業要件に必要な単位として認められる授業科目でなくてはなりません。つまり、◎や○の付いていない授業科目及び選択することができない履修コースの◎や○の授業科目の単位数については、それに含めることはできないわけです。また、ある1つの授業科目について、複数のコースに○付けられている場合には、どのように単位数を数えるのでしょうか？例えば、コースA及びコースBで構成されている授業科目の哲学の2単位を修得しました。このような場合には、コースA及びコースBどちらのコースにも、2単位ずつコースを修了するために必要な単位数に数えることができますが、卒業要件総単位数においては、1つの授業科目分の2単位にしか数えることはできません。

## 5. コースカリキュラムを修了するためには

### (1) コース修了要件

コース修了要件とは、学生区分に指定された学生が、単一のコースを修了するために必要な要件のことをいいます。コースを修了するためには、コースマトリックス表の当該コースの◎の授業科目をすべて修得し、学生別履修要件表のコース行に設定されている単位数をクリアすることが必要です。

なお、単位数に網掛けを付したコースについては、修了するために必修となるコースです。

Q : コース修了要件の単位数ですが？

A : コース行においては、2つのパターンにより単位数を定めています。例えば、英語標準コースのコース行に『6』と記述されていたら、英語標準コースを修了するためには、◎の授業科目の4単位を含めて、最低6単位以上の単位を修得しないといけません。また、『6～8』と記述されていたら、◎の授業科目の4単位を含めて、最低6単位以上の単位を修得することは同じですが、8単位を超えた単位については、卒業に必要な単位に算入されませんので、留意してください。

## (2) ブロック修了要件

ブロック修了要件とは、学生区分に指定された学生が、単一のコースを修了することにこだわらず、複数のコースを融通的にグループ化したブロックを修了するために必要な要件のことをいいます。ブロックを修了するためには、学生別履修要件表のブロック行に設定されている単位数をクリアすることを必要としています。ブロックを構成するコースについては、基本的に当該のコース修了を必要としませんが、ブロック行にコース数を指定する場合及びコース行に網掛けを付している場合には、コース修了要件も修了しなければなりません。

なお、単位数に網掛けを付したブロックについては、修了するために必修となるブロックです。

Q : ブロック修了要件の単位数ですが？

A : ブロック行については、3つのパターンにより単位数等を定めています。例えば、3つコースA、B及びCから成るブロックにおいて、そのブロック行に『6』と記述されていたら、そのブロックを修了するためには、コースA、B及びCの授業科目から、最低6単位以上の単位を修得しないといけません。また、『6～8』と記述されていたら、コースA、B及びCの授業科目から、最低6単位以上の単位を修得することは同じですが、8単位を超えた単位については、卒業に必要な単位に算入されません。これ以外には他、『1コース6単位』と記述されていたら、コースA、B及びCのいずれかの1つのコース修了要件を満たし、最低6単位以上の単位を修得しないといけません。このパターンの場合には、ブロックを構成するコースのコース修了要件を考慮しないといけないので、留意してください。

Q : ブロックにおける単位の数え方は？

A : 複数のコースから成るブロックにおいて、ある1つの授業科目について、複数のコースに○付けされている場合には、その授業科目の単位の修得によりコースA及びコースBどちらのコースにも、単位に数えることができますが、ブロック要件の単位数においては、その授業科目分の単位数しか数えることはできません。

## (3) コースカリキュラムの修了要件

コースカリキュラムの修了要件とは、学生別履修要件表の学生区分ごとに定められた卒業要件総単位数を満たし、必修となっているそれぞれのブロック修了要件及びコース修了要件をすべて満たすことにより修了することができます。



## II. 共通教育科目の履修上の注意

### 1. 英語の履修について

#### (1) 英語のカリキュラムについて

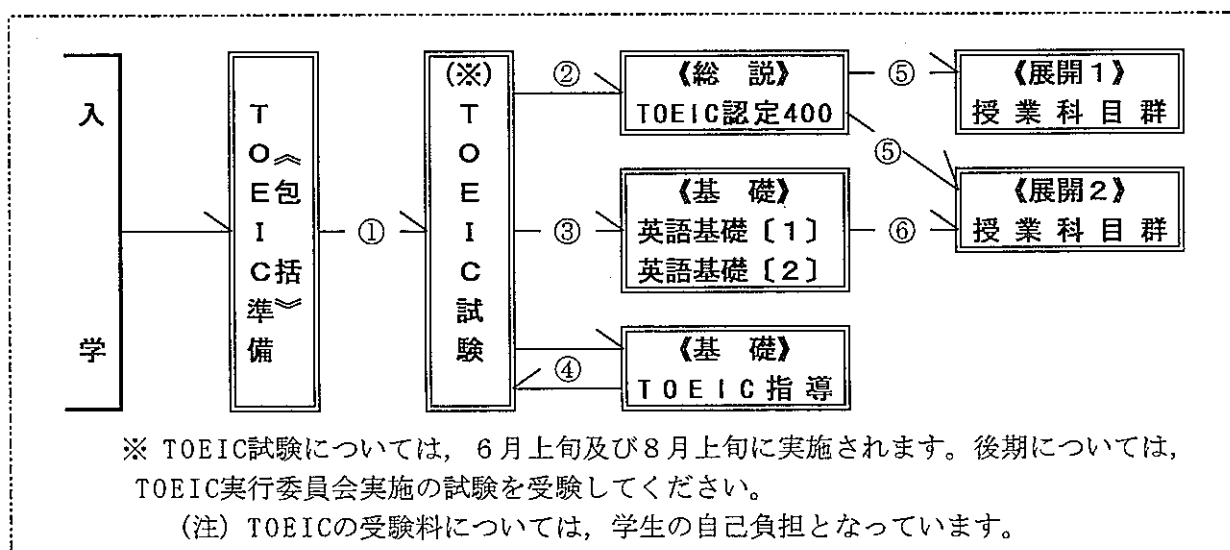
英語のカリキュラムについては、英語の実用能力の養成を基本として、そのベースの上に特殊な技能の修得を目指すカリキュラムとなっています。その実用能力を測るための1つの尺度として、TOEICを導入し、そのスコアに応じた能力別少人数クラスの授業を開設しています。

なお、英語の単位については、TOEICのスコアにより単位認定を受けることができます。単位認定の申請については、履修中の英語の授業科目の担当教官を通して、証明書類(スコアシート)を添付し手続きしてください。

#### (2) 単位修得の仕組みについて

単位修得の仕組みについては、以下の図のように示されます。

なお、TOEICの日程等については、掲示等により指示しますので、留意しておいてください。



① 学生は、前期クォーター1において、指定クラスのTOEIC準備を履修し、6月上旬のTOEIC試験を受験すれば、TOEIC準備(必修)の単位(1単位)を認定します。

② TOEICのスコアが400点に到達した学生については、TOEIC認定400の認定を受け、単位認定の申請の際に未修得の基礎の授業科目の単位(最大3単位)をすべて認定します。

③ TOEICのスコアが300点に到達した学生については、TOEIC指導の単位(1単位)を認定し、続いて英語基礎[1]及び英語基礎[2]を履修することになります。

なお、英語基礎[1]及び英語基礎[2]を履修しながら、TOEIC試験を受験することができます。その時点において、TOEICのスコアが400点に到達した学生については、履修中の英語基礎[1]及び英語基礎[2]の単位を認定します。ただし、TOEICのスコアが400点に到達しなかった学生については、引き続き英語基礎[1]及び英語基礎[2]を履修してください。

④ TOEICのスコアが300点に到達しない学生については、スコアをクリアするまで、TOEIC指導の単位を認定することができませんので、繰り返しTOEIC指導を履修してください。

なお、TOEIC指導と英語基礎[1]及び英語基礎[2]については、並行して履修することができます。

⑤ ②に該当する学生については、展開1及び展開2の授業科目から選択して、履修することができます。ただし、授業科目の内容及びレベルを考慮すると、展開1の授業科目から選択して、履修することを薦めます。

⑥ ③に該当する学生のうち、英語基礎[1]及び英語基礎[2]の単位を修得した学生については、展開2の授業科目から選択して、履修することができます。

### (3) 授業科目の内容について

#### ◆ TOEIC準備(1単位)：前期クォーター1

この授業科目については、TOEICの意義を学習し、問題の形式に慣れ、実際に6月上旬に予定しているTOEICの試験を受験することを目的としています。TOEICとは、英語の能力を忠実に反映する試験ですが、TOEICに不案内なまま受験した場合には、低いスコアに終わってしまう傾向にあるので、各自の実力を存分に発揮するためには、適切な準備が必要となります。

この授業科目においては、全学部の学生に統一したテキストを使用します。また、指定された履修クラスを変更することはできません。

#### ◆ TOEIC指導(1単位)：前期クォーター2以降

この授業科目については、TOEICにおけるリスニングとリーディングの基礎学力を養成することを目的とします。TOEICのスコアが300点に到達するまで、単位を認定することができませんので、スコアをクリアするまで、繰り返し履修してください。

この授業科目の内容については、担当教官によりTOEIC対策の強化のポイントに違いがありますので、共通教育シラバスにより履修クラスを選択してください。ただし、履修希望者多数の場合には、履修クラス指定されることがあります。

なお、工学部夜間主コースの学生については、工業英語3級とTOEICの300点とを同等に見なし、単位認定を受けることができます。

#### ◆ 英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕(各1単位)：後期クォーター1及び2

この授業科目については、基礎学力不足の学生のために、文法及び語彙力の養成を重点的な目的としています。後期クォーター授業として、同一の曜日・時限に連続して開設されています。

この授業科目においては、全学部の学生に統一したテキストを使用します。また、指定された履修クラスを変更することはできません。

#### ◆ TOEIC認定400(0単位)

この授業科目については、単位数を設定していませんが、TOEICのスコアが400点に到達することにより、基礎の授業科目(TOEIC指導、英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕)の単位をすべて認定します。

#### ◆ 展開1授業科目群(各2単位)

展開1の授業科目については、TOEICのスコアが400点に到達した学生のみ履修することができます。各授業科目の内容については、担当教官により異なっており、バラエティに富んだ内容となっていますので、共通教育シラバスを参照しながら、履修してください。

#### ◆ 展開2授業科目群(各2単位)

展開2の授業科目については、TOEICのスコアが400点に到達していない学生においても、基礎の授業科目の単位をすべて修得した学生については、履修することができます。展開2の授業科目については、展開1と比較すると、限られた授業科目数ですが、経済学部及び医学部医学科においては、必修科目に指定された授業科目もあります。

### (4) 自習等について

英語の授業科目の単位の認定については、成績により厳密に行われます。英語の能力を高めるためには、授業を受けるだけでなく、自宅学習もまた大切です。それぞれの授業においても、相当量の課題を提示しますので、自宅学習を怠らないように留意してください。

また、図書館やメディア棟の情報処理演習室において、自習ソフト(ALC Net Academy)を利用することができますので、積極的に活用してください。

## 2. 初習外国語の履修について

### (1) 初習外国語のコース設定について

本学で開設されている初習外国語には、ドイツ語、フランス語、中国語及びハンダールがあり、それぞれ入門コース、基本コース及び発展コースの3つのコース設定に基づいて、履修することになります。

なお、そのコースの内容については、以下のとおりです。

入門コース	各外国語の初歩を学習するためのコースです。各外国語の入門の授業を週1コマ受講し、前期2単位及び後期2単位の計4単位を修得し、修了します。
基本コース	各外国語の基礎をひとつとお修得するためのコースです。各外国語の初級の授業を週2コマ受講し、前期4単位及び後期4単位の計8単位を修得し、修了します。
発展コース	外国語の基礎をひとつとお修得するだけでなく、さらにその運用能力を发展させる訓練を行うためのコースです。各外国語の初級の授業を週2コマ履修し、前期4単位及び後期4単位の計8単位を修得するのに加え、さらにコース内の他の授業科目を2単位以上修得し、修了します。

### (2) 学部別の初習外国語の履修コースについて

各学部の指定する初習外国語の履修コースについては、以下のとおりです。

なお、履修コースにおける学部別の単位数等については、各学部の履修の手引に掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表及び以下の一覧表を参照し、履修してください。

学 部 等		入 門 コ ー ス	基 本 コ ー ス	発 展 コ ー ス	備 考	
人 文 学 部		×	少なくとも1コース選択必修		(注)参照	
教 育 学 部	学校教育 教員養成 課程	教科教育 数学 美術	1コース選択必修	×	×	
			1コース選択必修			
		国際理解教育 上記以外のコース	1コース選択必修		×	
	実践臨床教育課程	0～1コース選択				
	情報科学 教育課程	表現情報処理	0～1コース選択	×	×	
		数 理 情 報	1コース選択必修	×	×	
	健康科学 教育課程	スポーツ健康科学	0～1コース選択	×	×	
		生活健康科学	0～1コース選択			
	総合文化 教育課程	国際文化	×	0～1コース選択		
		文芸・芸能	0～1コース選択			
経 済 学 部		×	1コース選択必修	×		
理 学 部		0～1コース選択		×	×	
医学部	医 学 科	ドイツ語入門コース必修	×	×		
	保 健 学 科	1コース選択必修	×	×		
工 学 部		0～1コース選択		×		
農 学 部	生物資源環境科学科	0～1コース選択	×	×		
	生物機能科学科	1コース選択必修	×	×		
	獣 医 学 科	0～1コース選択	×	×		

(注) 人文学部

- ① 人文学部では、初習外国語を最高16単位まで卒業に必要な単位として認定します。このうちの8単位は、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンダールから1か国語を選択し、山口大学で開講されている各外国語初級1及び2を必ず修得してください。
- ② 1か国語8単位を超える部分についての単位の修得方法は、次頁の場合があります。
 

なお、8単位の範囲内であれば、i, ii, iiiを組み合わせて修得することもできます。

  - i. ①で選択した外国語の発展コースの授業科目を修得する。
  - ii. ①で選択した外国語以外の山口大学開設の言語を選択し修得する。この場合は、必ず基本コースの授業科目を修得してください。
  - iii. 放送大学開講のスペイン語またはロシア語を修得する。この場合は、どちらも『I』2単位、『II』2単位の合計4単位まで修得できます。

### (3) 初習外国語の履修について

- ① 各授業科目名で、1 という数字のついているものは、前期開講授業、2 という数字がついているものは、後期開講授業です。後期授業は、それぞれ前期に開講される1の授業を履修していることを前提に授業を行います。従って、これらの科目を履修する場合には、前期の1から履修することが望ましいということになります。
- ② ドイツ語初級、フランス語初級、ハングル初級は、同じ教官が行う週2回の授業が1つのセットになっているので、両方の授業を併せて履修してください。単位は、各期4単位ずつまとめて認定されます。

ただし、平成14年度前期のフランス語初級1については、月曜日5・6時限の森宗教官の授業と水曜日5・6時限の田尻教官の授業が例外的にセットになっています。
- ③ 中国語初級については、[1 aと1 b]、[2 aと2 b]をあわせて受講してください。単位は、それぞれ2単位ずつ認定されます。
- ④ 各外国語発展コースの展開1の授業を受講できるのは、総説の授業を修得した学生、すなわち各外国語初級1と2の合計8単位を修得した学生に限られます。
- ⑤ 各外国語発展コースのうち、ドイツ語会話、フランス語会話、中国語初級会話、ハングル初級会話については、展開2の授業ですので、1年次に履修が可能です。特に、中国語初級会話については、中国語初級と同時進行の授業ですので、1年次の履修が基本となります。
- ⑥ 中国語を履修する学生は、さらに以下の説明と注意事項に留意してください。

#### ◆ 中国語入門1及び中国語入門2について

前・後期週1回の授業で、中国語の発音、基本表現・語彙を学習し、中国語の初歩的な基礎語学力の修得を目指します。またコトバの文化・社会的背景の基本的事項も折にふれて紹介し、中国理解を深めます。

中国語入門1と中国語入門2は、必ず同一の曜日・時限・教官で受講してください。後期からの変更は認めません。

定員は、各クラス50名で、定員を上回る場合は初回授業で抽選をします。

#### ◆ 中国語初級1 a及び中国語初級2 aについて

前・後期週1回で、中国語概説、発音指導、文型・文法等の習熟、また現代中国事情の理解に重点をおいた日本人教官の指導による授業です。

中国語初級1 aと中国語初級2 aは、必ず同一の曜日・時限・教官で受講してください。後期からの変更は認めません。

定員は、各クラス30名で、定員を上回る場合は初回授業で抽選をします。

#### ◆ 中国語初級1 b及び中国語初級2 bについて

前・後期週1回で、発音指導、表現、語彙、会話、聞き取りなどのコミュニケーション能力の育成と中国文化事情の理解に重点をおいた中国人教官の指導による授業です。この授業では、基本的に中国語のみによる指導が行われます。

中国語初級1 bと中国語初級2 bは、必ず同一の曜日・時限・教官で受講してください。後期からの変更は認めません。

定員は、各クラス30名で、定員を上回る場合は初回授業で抽選をします。

### (4) 外国人留学生等の履修について

外国人留学生については、初習外国語の1つのコースとして、日本語のコースを選択できます。日本語のコースの単位設定等については、所属する学部等により異なりますので、各学部の履修の手引に掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表を参照して、履修してください。

なお、中国語を主な使用言語とする学生及び中国語使用圏で多年にわたり中国語による教育を受けた学生(日本人学生を含む。)は、中国語の授業科目を履修できません。

### 3. 自然科学入門分野の履修について

#### (1) 自然科学入門分野の授業科目について

自然科学入門分野の授業科目は、数学、物理学、化学及び生物学分野の授業科目を履修するために必要な基礎能力を養成することを目的として、各分野の高等学校レベルの学習内容を再教育する授業科目です。

#### (2) 履修指定について

教育学部、理学部、医学部、工学部及び農学部において、以下の履修指定要件に該当する学生は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅰ及び生物学Ⅱを履修するためには、対応する分野の自然科学入門の授業科目を履修しなければなりません。

なお、履修指定要件に該当する学生は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅰ及び生物学Ⅱを履修しなくても、対応する分野の自然科学入門の授業科目のみ履修することもできます。

なお、以下の履修指定要件に該当しない学生については、原則として、自然科学入門分野の授業科目を履修することができません。

授業科目		対応分野	履修指定要件
自然科学入門	数学入門 1 数学入門 2	数 学	高等学校において、 <u>数学Ⅲ・数学C(相当する内容)</u> を履修していない学生
	物理学入門 1 物理学入門 2	物 理 学	高等学校において、 <u>物理ⅠB(相当する内容)</u> を履修していない学生 ただし、医学部医学科については、大学入試センター試験の <u>物理を受験していない学生</u>
	化学入門 1 化学入門 2	化 学	高等学校において、 <u>化学ⅠB(相当する内容)</u> を履修していない学生 ただし、工学部については、高等学校において、 <u>化学ⅠB及び化学Ⅱ(相当する内容)</u> を履修していない学生
	生物学入門 1 生物学入門 2	物 理 学	高等学校において、 <u>生物ⅠB(相当する内容)</u> を履修していない学生 ただし、医学部医学科については、大学入試センター試験の <u>生物を受験していない学生</u>

#### (3) 自然科学入門分野の履修について

自然科学入門分野の授業科目については、前期のクォーター授業として、同一の曜日・時限に連続して開設されています。

自然科学入門を履修する際には、数学、物理学及び生物学分野については、数学Ⅰ、物理学Ⅰ及び生物学Ⅰと対応する分野の自然科学入門の授業科目と並行して履修してください。ただし、化学分野については、自然科学入門の授業科目を履修した後、後期に開講される化学Ⅰを履修してください。

### 4. 自然科学実験分野の履修について

#### (1) 自然科学実験について

自然科学実験分野において、文系学部の学生を対象とした『自然科学実験』を開設しています。

自然科学実験については、物理学、化学、生物学及び地球科学の各分野の基礎的な実験を行い、自然現象の見方や法則性の理解を深めることを目的としています。各分野の担当教官が、それぞれ3週間にわたり担当することになっていますが、具体的な内容については、共通教育シラバスを参照してください。

(2) 自然科学実験を除く自然科学分野の実験の授業科目の履修について

自然科学実験を除く自然科学分野の実験の授業科目の履修については、各学部の履修の手引に掲載されているコースカリキュラム・マトリックス表及び以下の一覧表を参照して、履修してください。

学期	曜日	時 限	授 業 科 目	対 象 学 生 等 ( ク ラ ス )
前 期	木	5～8	物理学実験 A	○自然, ○化地, ○生資, ○獣医
			化学実験 A	◎化地, ○生機, ○獣医
			生物学実験	○自然
			地球科学実験	○自然, ○獣医
	金	5～8	物理学実験 B	◎機械, ◎応化, ◎社建
			化学実験 B	◎機械, ◎応化, ◎社建
生物学実験			○生資, ○生機	
後 期	木	5～8	物理学実験 A	○自然, ●化地(化学), ○生資, ○獣医
			物理学実験 B	◎医学
			化学実験 A	○自然, ○生資
			化学実験 B	◎医学
			生物学実験	○自然
			地球科学実験	●化地(地球)
	金	5～8	物理学実験 B	◎電気, ◎知能, ◎機材, ○看護, ◎検査
			化学実験 B	◎電気, ◎機材, ○看護, ◎検査
			生物学実験	◎獣医
			地球科学実験	○生資

(注) 対象学生等において、学科等の略称に付した記号については、以下のとおりです。

◎：当該授業科目を必修科目とする学科等

●：当該授業科目を選択必修科目とするが、履修することが望ましい科目とする学科等

○：当該授業科目を選択必修科目とする学科等

(3) 実験オリエンテーションについて

授業科目によっては、各学期の授業開始前、実験オリエンテーションを行うものがあります。

原則として、このオリエンテーションに出席していない学生については、当該授業科目の履修を認めません。詳細については、共通教育掲示板に掲示しますので、見落とし等がないように留意してください。

## 5. スポーツ運動実習の履修について

(1) スポーツ運動実習の履修について

スポーツ運動実習を必修とする教育学部及び経済学部商業教員養成課程の学生については、学年及びクラス指定された曜日・時限に履修してください。

また、スポーツ運動実習を選択科目の単位として履修する者、教育職員免許状取得のために履修する者、再履修者については、以下の曜日・時限に履修してください。ただし、商業教員養成課程を除く経済学部の学生については、卒業に必要な単位に算入されません。

《前期》 水曜日 5・6時限, 木曜日 5・6時限

《後期》 水曜日 5・6時限, 木曜日 5・6時限

(2) 選択種目の決定について

スポーツ運動実習を履修する学生は、各学期の第1週目の授業において、選択種目及び担当教官を決定しますので、第1体育館に必ず集合してください。

なお、履修希望者多数の場合には、抽選等により履修制限を行います。

(3) 履修届の記入について

履修届には、選択種目及び担当教官まで、正確に記入してください。

(4) 積み上げ履修について

スポーツ運動実習については、積み上げ履修可能な授業科目です。既に単位を修得した学生が、再び履修することができます。ただし、履修希望者多数の場合には、単位未修得の学生の履修を優先するために、履修できないことがあります。

## 6. フレッシュマン・セミナー(新入生合宿)について

(1) フレッシュマンセミナー(新入生合宿)について

フレッシュマンセミナーとは、集団生活を通して、新入生同士、新入生と教職員あるいは新入生と上級学生の交流を主体として、1日でも早く本学に慣れ、大学生活を円滑に過ごすことができるためのガイダンスを行うことを目的として実施される授業科目です。

(2) 開講時期等について

フレッシュマンセミナーについては、前期(4月1日～9月30日)の間に開講されます。開講時期やスケジュールについては、所属する学部により異なりますので、所属学部の教務担当係の指示に従って、必ず参加してください。

## 7. 外国人留学生用授業科目について

(1) 外国人留学生用授業科目について

外国人留学生用科目として、日本事情及び日本語を開講しています。また、コースカリキュラムにおいては、外国人留学生用のコースを設定しています。

(2) 外国人留学生の履修について

日本事情及び日本語の単位については、各学部の履修の手引に掲載されている外国人留学生用のコースカリキュラム・マトリックス表に基づき、卒業に必要な単位に算入されます。日本語の上達と日本の社会と文化に親しむ絶好の機会ですから、積極的に履修してください。

(3) 日本人学生の履修について

日本事情及び日本語の単位については、卒業に必要な単位に算入されませんが、外国人留学生とのふれあいや異文化コミュニケーションといった目的意識をもった学生の履修については、大いに歓迎します。

### Ⅲ. 履修手続について

#### 1. 共通教育科目の授業計画

##### (1) 共通教育シラバス

共通教育シラバスには、当該年度の各共通教育科目の授業の概要や授業計画、成績判定基準、テキスト等に関する情報を記載しています。

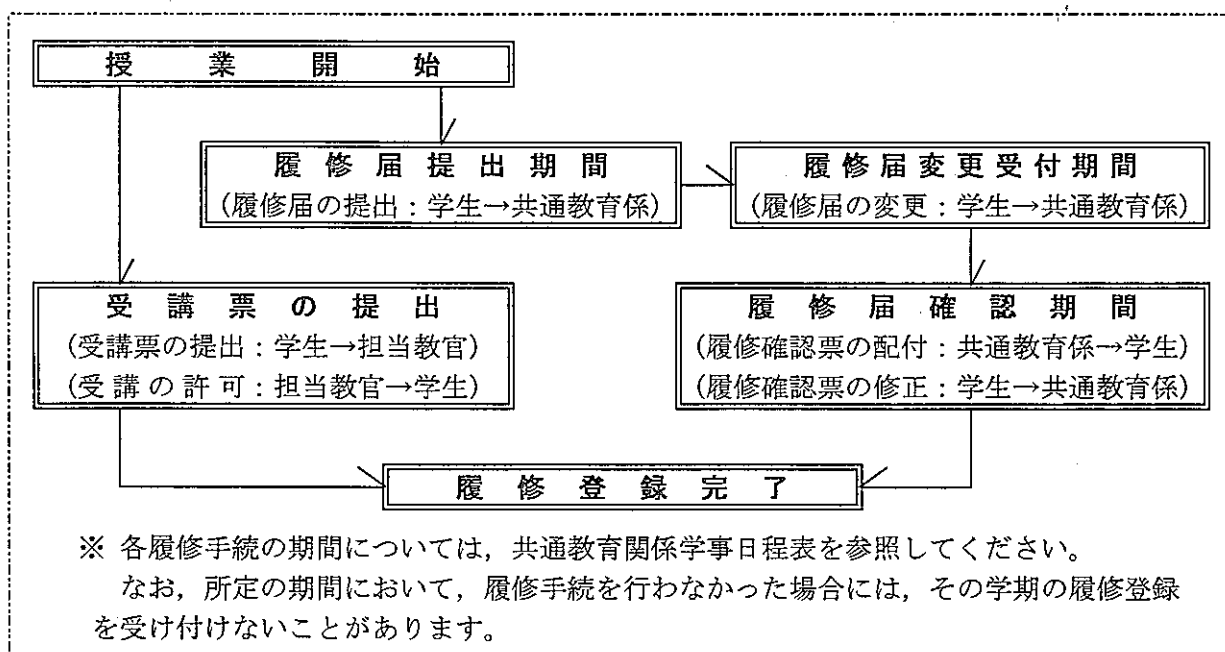
##### (2) 共通教育履修案内

共通教育履修案内には、当該年度の共通教育時間割及び共通教育科目の履修手続に関する情報を記載しています。

#### 2. 履修手続について

##### (1) 履修手続の流れ

履修手続の流れについては、以下の図のように示されます。



##### (2) 受講票の提出

共通教育科目を履修する学生は、共通教育履修案内に綴じ込みの受講票に、必要な事項を記入して、原則として最初の講義時に、履修しようとする授業科目の担当教官に提出して、担当教官の承認を受けてください。

なお、履修希望者多数の場合には、受講制限を行う授業科目もありますので、最初の授業に必ず出席してください。

##### (3) 履修届の提出

共通教育履修案内に綴じ込みの履修届に、共通教育科目及び専門科目の履修する授業科目を記入して、以下の提出期間に、教務課共通教育係に提出してください。ただし、経済学部の学生については、教務課共通教育係及び経済学部学務係の両方に、履修届を提出してください。

履修届に記入していない授業科目、担当教官及び時間割コード等を誤記入した授業科目については、履修することができませんし、単位を認定することもできません。

《提出期間》 前期：平成14年4月18日(木)～平成14年4月24日(水) 17時(時間厳守)

後期：平成14年10月8日(火)～平成14年10月15日(火) 17時(時間厳守)



#### (4) 履修届記入上の注意

- ◆ 履修届の記入にあたっては、HBの黒鉛筆を使用し、記入例を参照にしながら、履修しようとする共通教育科目及び専門科目を正しく記入してください。授業科目等の記入の際には、まずこの履修案内の履修届(控)に記入し、その内容に誤記入等がないかを確認した後に、提出用の履修届に転記してください。
- ◆ 学籍番号については、学生証に記載してある学籍番号を正しく記入(2箇所)してください。学籍番号を誤記入すると、すべての授業科目の履修登録ができません。
- ◆ 住所については、アパート名及び部屋番号まで記入してください。
- ◆ 電話番号については、緊急の際にも連絡可能な電話番号を記入してください。  
なお、携帯電話等を所持している場合には、その電話番号を記入してください。
- ◆ 授業科目、担当教官及びコードについては、該当する曜日・時限の記入欄の枠内に正確に記入してください。また、集中講義及びクォーター2の授業科目については、その他の記入欄の枠内に正確に記入してください。ただし、クォーター2の『TOEIC指導』については、記入しないでください。
- ◆ コードについては、共通教育履修案内の共通教育授業時間割及び各学部の専門科目の授業時間割を確認し、正しく記入してください。コードを誤記入すると、自分の意思に反した授業科目を履修登録することになります。
- ◆ 週2コマ開講される授業科目については、授業科目及び担当教官については、2コマ両方に記入し、コードについては、いずれか1コマに記入してください。2コマ両方にコードを記入すると、その授業科目の履修登録ができません。
- ◆ 『スポーツ運動実習』及び主題系列の授業科目については、種目及びテーマを( )書きにより記入してください。
- ◆ 木曜日及び金曜日5～8時限に開講される『物理学実験B』及び『化学実験B』については、該当の曜日にそれぞれ1コマずつ記入してください。

#### (5) 履修届の変更

履修届を変更する際には、以下の変更受付期間に、教務課共通教育係にて変更してください。ただし、経済学部の学生については、教務課共通教育係及び経済学部学務係の両方にて、履修届を変更してください。

なお、履修届を変更する際には、変更箇所を消しゴムにより完全に消してから、正しく変更してください。

《受付期間》 前期：平成14年4月25日(木)～平成14年4月26日(金) 17時(時間厳守)  
後期：平成14年10月16日(水)～平成14年10月17日(木) 17時(時間厳守)

#### (6) 履修確認票の配付

履修確認票とは、みなさんが提出した履修届を電算処理して、履修しようとするすべての授業科目について、曜日・時限、コード、授業科目、単位、担当教官等を記載した書類です。以下の期間に配付される履修確認票を受領し、その記載内容を慎重に確認し、その記載内容に少しでも誤表示等がある場合には、必ず教務課共通教育係に申し出てください。特に、履修確認票のチェック欄にエラー表示がある場合には、その授業科目については、履修登録されていません。

履修確認票に記載されていない授業科目については、履修することができませんし、単位を認定することもできません。また、担当教官及びコード等を誤表示された授業科目については、実際に履修している授業科目の定期試験等を受験したとしても、成績の認定をすることができません。

なお、履修確認票を受領しない学生及び亡失した学生については、その後の履修及び成績の問い合わせには、一切応じかねます。

《配付期間》 前期：平成14年5月9日(木)～平成14年5月10日(金) 17時(時間厳守)  
後期：平成14年10月30日(水)～平成14年10月31日(木) 17時(時間厳守)

※ 変更の場合がありますので、掲示板を留意しておいてください。

### (7) 履修確認票の確認事項等

- ◆ この履修案内の履修届(控)に記入した内容が、履修確認票に正確に反映されていますか？
- ◆ 以下のようなエラー表示が、履修確認票のチェック欄に明示されていませんか？
  - A：コードが存在しない場合
  - B：同じコードが複数存在する場合
  - C：外国人留学生用の授業科目を履修登録している場合
  - D：同一学期に同じ授業科目を履修登録している場合
  - E：履修不可の授業科目を履修登録している場合
  - F：同一の曜日・時限に重複して履修登録している場合
  - G：上位学年の授業科目を履修している場合
- ◆ 自分の意思に反した授業科目が、表示されていませんか？
- ◆ 『スポーツ運動実習』や『TOEIC準備』等については、正しい担当教官のクラスに登録されていますか？
- ◆ クラス指定のある授業科目については、正しいクラスに登録されていますか？
- ◆ 専門科目についても、正しく登録されていますか？

## 3. 履修手続に関する注意事項

### (1) クラス指定について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがあります。クラス指定された授業科目については、原則として、該当する対象学生以外履修することはできません。

### (2) 重複履修の禁止

同一の曜日及び時限において、2つ以上の授業科目を重複履修することはできません。重複履修の場合には、そのすべての単位を無効とします。

### (3) 既修得授業科目の再履修について

積み上げ履修可能な授業科目を除いて、既に単位を修得した授業科目を再度履修し、単位を修得しても、卒業に必要な単位に加算することはできません。

また、既に単位を修得した授業科目の評価については、再度単位を修得したとしても、過去の評価を変更することはできません。つまり、『可』の評価であった授業科目について、再履修により『優』の評価を受けたとしても、『可』の評価に『優』の評価を加えることとなります(『可』の評価を抹消することはできません。)

## 4. 履修及び授業に関する問い合わせ

### (1) 履修に関する問い合わせ

共通教育科目の履修に関する問い合わせについては、原則として、所属する学部の教務担当係に申し出てください。ただし、1年次の医学部及び工学部の学生については、教務課共通教育係に申し出てください。

### (2) 授業に関する質問等

授業に関する質問については、共通教育シラバスに記載されているオフィスアワーを利用して、担当教官にコンタクトをとってください。

また、非常勤講師については、授業の開始前及び終了後等の時間を利用して、質問するのが良いでしょう。教務課共通教育係においては、非常勤講師の連絡先等については、学生に教えることはできません。

なお、非常勤講師室については、共通教育本館1階に設置しています。

### (3) 授業の欠席届

疾病、忌引、教育実習、就職試験等やむを得ない事由により授業を欠席する場合には、欠席届を提出することができます。欠席届には、所属する学部及び学科等、学籍番号、氏名、欠席日時及び欠席事由を記入し、授業担当教官に提出してください。教務課共通教育係においては、所定の欠席届を作成していませんので、任意の様式により作成してください。

なお、欠席届については、担当教官に欠席を届け出るためのものであり、出席扱いになるものではありません。

## 5. 掲示について

### (1) 掲示板の設置

共通教育科目に関する学生への諸連絡については、共通教育本館1階の情報処理大演習室前の電子掲示板及び共通教育本館-共通教育合併講義棟の渡り廊下の共通教育掲示板において、掲示により指示しますので、1日1回程度、掲示板を忘れずに確認してください。

### (2) 自己責任について

掲示の見落としによって、レポートの提出期限に遅れたり、各種のオリエンテーションに欠席したり、休講や教室変更の情報を得られなかったりして、不利益を生じることがあります。これらの不利益とは、本人の不注意によるもの以外の何ものでもないので、自己責任の意識を明確に持ち、行動してください。

## IV. 共通教育の定期試験について

### 1. 定期試験について

#### (1) 定期試験

共通教育科目の定期試験については、原則として2週間の定期試験期間を設定して、筆記試験により実施します。ただし、担当教官によっては、定期試験をレポート等の提出に替えることがあります。

また、担当教官によっては、中間試験等を実施することもあります。

#### (2) 定期試験の時間割発表

共通教育科目の定期試験の時間割の発表については、定期試験開始日の1週間前に、掲示により行います。

なお、専門科目の定期試験の時間割等については、所属する学部の指示に従ってください。

### 2. 定期試験の受験上の注意

#### (1) 不正行為

定期試験等において、不正行為を行った学生については、その行為が発覚した時点から謹慎処分となり、その学期における当該学生の履修した授業科目すべての単位が無効となり、学則により相応の懲戒処分を受けることとなります。

#### (2) 学生証の提示

定期試験を受験する際には、必ず学生証を持参し、机の上に提示してください。学生証を忘れた学生については、定期試験を受験することができません。

#### (3) 遅刻者及び退席者の取り扱い

試験開始後30分以上遅刻した学生については、受験することができません。また、試験開始後30分以上経過するまでは、試験室を途中退席することができません。

#### (4) その他の注意事項

定期試験の答案用紙には、所属学部等、学籍番号及び氏名を明記してください。これらを記入していない答案については、無効となることがあります。

また、定期試験時間中に、試験監督者の指示及び注意事項を遵守しない学生については、退席を命じられることがあります。

### 3. 追試験について

#### (1) 追試験とは

追試験とは、定期試験を受験できない事由のある学生を対象として、学生本人の申請に基づき、その事由を『真にやむを得ない事由』として認める場合に限り、実施する試験です。

#### (2) 『真にやむを得ない事由』及び申請に必要な証明書類

- ◆ 疾病 ⇒ 医師の診断書
- ◆ 忌引(2親等内の親族に限る。) ⇒ 会葬御礼の書面等
- ◆ 国家(地方)公務員試験の第2次試験の受験 ⇒ 第1次試験の合格通知書
- ◆ 大学教育センター長が、特にやむを得ない事由であると認めた場合

#### (3) 追試験の申請手続

原則として、事前に『共通教育科目追試験願』に所定事項を記入及び押印し、受験することができない事由を証明する書類を添付して、教務課共通教育係に提出してください。

また、事前に申請することが時間的に困難な場合には、当該の定期試験開始前までに、教務課共通教育係に連絡し、了解を得てください。この場合の申請書類については、当該の定期試験期間終了後1週間以内に、教務課共通教育係に提出しなければなりません。

なお、専門科目については、所属する学部の教務担当係に申請してください。ただし、医学部及び工学部の1年次生については、教務課共通教育係に提出してください。

#### (4) 追試験の実施

追試験については、当該の定期試験終了後に、速やかに実施します。

再試験の実施日時等については、教務課共通教育係から本人に連絡があります。

### 4. 再試験について

#### (1) 再試験とは

再試験とは、定期試験を受験した学生のうち、成績評価の『不可』の学生を対象として、各担当教官の判断により実施する試験です。つまり、定期試験を受験しなかった学生については、再試験の対象となりません。

#### (2) 再試験の実施

再試験については、定期試験終了1週間後から5日間の期間に、担当教官が実施します。

再試験の対象学生や実施日時等については、担当教官から通知がありますので、掲示等に留意しておいてください。

#### (3) 成績の評価

再試験により合格した学生の成績評価については、すべて『可』となります。

### 5. 成績について

#### (1) 成績について

成績については、定期試験等の成績、学習状況、出席状況等を考慮し、担当教官の成績判定基準によって、100点法により算出されます。60点以上を合格とし、100点～80点を優、79点～70点を良、69点～60点を可、59点以下を不可(不合格)と表記します。

なお、成績判定基準及び成績評価方法については、担当教官により異なりますので、共通教育シラバスを参照にしてください。

#### (2) 成績の通知について

成績の通知については、所属する学部において、成績通知票の配付のみにより行われます。成績通知票の配付日時等については、掲示により通知しますので、特に留意しておいてください。

なお、教務課共通教育係においては、成績通知票の配付以前に、いかなる事由によっても、個別に成績の通知を行いません。

#### (3) 成績に関する問い合わせ

共通教育科目の成績に関する問い合わせについては、原則として、所属する学部の教務担当係に申し出てください。ただし、1年次の医学部及び工学部の学生については、教務課共通教育係に申し出てください。

#### (4) 成績の自己管理

卒業するまでの成績については、配付された成績通知票を保管し、自己の責任により自分の成績状況等を正確に把握しておいてください。単位数の修得状況の勘違い等により卒業できない事態を招くことのないように、留意してください。

## V. その他

### 1. 既修得単位の認定

#### (1) 既修得単位認定制度とは

他大学または短期大学，大学以外の教育施設(放送大学等)において，修得した単位及び資格について，既修得単位認定の希望者からの申請により，本学における審査に基づき，その修得単位のうち60単位を最大として，本学における修得単位として認定する制度です。

#### (2) 既修得単位認定の申請

既修得単位認定の希望者については，既修得単位認定申請書(所定の様式)に成績証明書1部及び講義要項等の写しを添付し，所属する学部の教務担当係に申請してください。

### 2. 放送大学との単位互換制度

#### (1) 放送大学との単位互換制度とは

放送大学との単位互換制度とは，放送大学の授業を履修して，単位認定試験により単位を修得すれば，本学における卒業要件の単位としてみなす制度です。

#### (2) 問い合わせ先

履修できる授業科目及び修得できる単位数については，所属する学部により異なりますので，放送大学の履修を希望する学生については，事前に所属する学部の教務担当係に問い合わせてください。